



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 京浜急行電鉄株式会社
 コード番号 9006 URL <http://www.keikyu.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 石渡 恒夫
 (氏名) 廣川 雄一郎
 配当支払開始予定日

TEL 03-3280-9135
 平成24年11月28日

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	144,523	2.0	10,257	18.3	7,619	35.7	4,119	83.2
24年3月期第2四半期	141,708	△5.5	8,668	△27.1	5,617	△35.7	2,248	△25.2

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 3,687百万円 (49.1%) 24年3月期第2四半期 2,472百万円 (8.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	7.47	—
24年3月期第2四半期	4.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	973,256		189,112		19.4	
24年3月期	964,303		187,187		19.4	

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 188,675百万円 24年3月期 186,752百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
25年3月期	—	3.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	311,000	5.3	18,000	△5.2	12,000	△6.8	8,000	94.2	14.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	551,521,094 株	24年3月期	551,521,094 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

25年3月期2Q	300,700 株	24年3月期	184,959 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	551,279,603 株	24年3月期2Q	551,348,338 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想については、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

業績予想に関する事項は、添付資料4ページ「1. (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

(参考)

平成25年3月期の個別業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	117,600	9.1	3,000	△46.7	2,000	△49.7	3.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) セグメント情報等	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
4. 補足情報	12
【第2四半期連結損益計算書（前年同期比較）】	12
【セグメント情報（前年同期比較）】	13
【鉄道運輸成績】	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）のわが国経済は、東日本大震災の復興需要などにより、緩やかな回復傾向がみられるものの、欧州政府債務危機などを背景とした海外景気の下振れや、円高の長期化などにより、先行きは不透明な状況で推移しました。

このような事業環境のなか、当社グループは、重要な戦略拠点である品川、羽田空港等を中心に各事業で営業を推進するとともに、経営の効率化を図り、経営基盤の強化に努めました。また、公共交通機関をはじめとしたライフラインを担う企業集団として、引き続き安全・安心、良質なサービスの提供に努めました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の営業収益は1,445億2千3百万円（前年同期比2.0%増）、営業利益は102億5千7百万円（前年同期比18.3%増）、経常利益は76億1千9百万円（前年同期比35.7%増）、四半期純利益は41億1千9百万円（前年同期比83.2%増）となりました。

なお、9月に追浜駅～京急田浦駅間にて土砂崩落に伴う列車脱線事故が発生しました。お怪我をされた方、ご利用のお客さまに多大なご迷惑をおかけしましたことを、謹んでお詫び申し上げます。公共交通を担う事業者として、お客さまに安心してご利用いただけるサービスを引き続き提供するため、事故の原因究明および再発防止に尽力してまいります。

次に、セグメント別の業績についてご報告いたします。

交通事業

鉄道事業では、空港線の需要拡大に努め、海外の旅行会社などと共同で国内外において積極的に旅客誘致を図るとともに、訪日旅客を対象に企画商品を販売しました。また、「京急&東京スカイツリー周辺散策フリーきっぷ」を発売するなど、当社線の利用促進に努めました。

さらに、引き続き安全対策を最重要課題とし、連続立体交差化工事を進め、京急蒲田駅付近では高架化工事を、大師線では地下化工事を推進しました。なお、10月に、京急蒲田駅付近連続立体交差事業の進捗に伴い事業区間の全線を高架化し、28か所の踏切道を解消しました。また、警察や消防と連携した訓練等を継続して実施したほか、高機能ATS(C-ATS)の機能向上により全線において踏切道防護システムの運用を開始しました。このほか、東日本大震災の経験を踏まえ、各駅において避難誘導場所を記した周辺案内図を作成したほか、お客さま向けの飲料水等の備蓄を完了しました。

乗合・貸切自動車事業では、京浜急行バス(株)は、羽田空港などへの輸送力増強に対応するため、横浜市神奈川区に新たに営業所を開業しました。また、羽田空港のアクセス向上を図るため、羽田空港～錦糸町駅・東京スカイツリータウン線の運行を開始しました。さらに、横浜駅(YCAT)～葉山線の運行を開始し、葉山地区の利便性向上を図りました。このほか、品川駅から、御殿場市の大型商業施設に向かう路線の運行を開始しました。また、京浜急行バス(株)および川崎鶴見臨港バス(株)は、品川駅、横浜駅および川崎駅から木更津市に開業した大型商業施設に向かう路線の運行を開始しました。

タクシー事業では、羽田空港国際線ターミナルと各地を結ぶ定額運賃制タクシーの対象地区を鎌倉、逗子および葉山地区まで拡大し、新規顧客の開拓を図りました。

以上の結果、交通事業の営業収益は573億7千6百万円（前年同期比1.7%増）、営業利益は75億3千2百万円（前年同期比20.2%増）となりました。

なお、京急蒲田駅付近連続立体交差事業の進捗に伴い、10月にダイヤ改正を実施し、羽田空港アクセスを中心に全線において利便性のさらなる向上を図りました。

不動産事業

不動産販売業では、当社は、他社と共同で、大師線港町駅前の大規模分譲マンション「リヴァリエ」の3月入居開始に向け、1棟目の販売を進めました。また、当社および京急不動産(株)は、引き続き「京急ニュータウン金沢能見台」分譲地や「京急ニューシティ湘南佐島なぎさの丘」分譲地などにおいて、立地特性を活かした宅地・戸建住宅を販売しました。さらに、京急不動産(株)は、分譲マンション「プライム横浜生麦」および「プライム新川崎」の販売を開始しました。

不動産賃貸業では、重要な戦略拠点である品川において、複合施設「SHINAGAWA GOOS」などが好調に稼働しました。また、資産の価値向上を図るため、京急第1ビル高層棟のリニューアル工事を推進したほか、将来の事業拡大に向け、優良な土地建物の取得を進めました。

しかしながら、京急第1ビル高層棟のリニューアル工事に伴う賃貸収入の減少などにより、不動産事業の営業収益は114億4千9百万円（前年同期比9.8%減）、営業損失は1億4千1百万円（前年同期は営業利益11億8千3百万円）となりました。

レジャー・サービス事業

ホテル業では、ホテル グランパシフィック LE DAIBAは、お台場地区に新規開業した大型商業施設の利用者の取り込みを図り、コンセプトルームの宿泊プランを販売するなど、新規顧客の獲得に努め、好調に稼働しました。また、京急EXインは、「京急EXイン 品川駅前」をはじめ、各館が好調に稼働しました。

レジャー施設業では、京急開発(株)は、羽田空港の早朝の航空便にあわせて「天然温泉 平和島」から運行している羽田空港国際線ターミナルへの無料バスを増発するなど、施設の利用促進を図りました。

以上の結果、レジャー・サービス事業の営業収益は201億9百万円（前年同期比11.0%増）、営業利益は16億6千5百万円（前年同期は営業損失2億2千3百万円）となりました。

流通事業

百貨店業では、(株)京急百貨店は、集客力の強化を図るため、上大岡駅に直結する1階を改装し、新規テナントを誘致しました。また、新たにお中元のオンラインショップを開設し、販売機会の拡大に努めました。

ストア業では、(株)京急ストアは、新業態の小型店舗「京急ストア グロッサリーマーケット 伊勢佐木町店」を開業したほか、新川崎店などが引き続き好調に推移しました。また、ユニオネックス(株)は、前年に開業したもとまちユニオン六本木店をはじめ、各店で商品構成の見直しを行うなど、収益力の強化に努めました。さらに、(株)京急ストアおよびユニオネックス(株)は、合併に向け本社機能を集約し、経営の効率化を図りました。

(株)京急ショッピングセンターは、周辺環境の変化に対応し、新規顧客の獲得を図るため、ウィング新橋およびウィング高輪でテナントの入れ替えを進めました。

物品販売業では、(株)京急ステーションコマースは、セブン-イレブンへの転換により駅売店が好調に推移しました。また、横浜駅構内でテナントを入れ替え、新規顧客の獲得に努めました。

以上の結果、流通事業の営業収益は548億8千4百万円（前年同期比1.3%増）、営業利益は4億4千5百万円（前年同期比0.7%減）となりました。

その他

京急建設(株)および京急電機(株)は、引き続き鉄道の安全対策工事等を行いました。また、(株)京急ファインテックは、車両の更新工事等を行いました。

以上の結果、その他の事業の営業収益は202億1千6百万円（前年同期比2.8%増）、営業利益は5億9千8百万円（前年同期比25.6%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、有形固定資産の増加などにより前連結会計年度末と比べ89億5千3百万円増加しました。

負債は、コマーシャル・ペーパーの発行などにより前連結会計年度末と比べ70億2千8百万円増加しました。

また、純資産は、剰余金の配当による減少はありましたが、四半期純利益の計上などにより前連結会計年度末と比べ19億2千4百万円増加しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想について、第2四半期までの業績等を踏まえ見直しを行った結果、前回予想（平成24年8月1日公表）を修正しております。

営業収益は、流通事業、交通事業などで前回予想を下回るものの、不動産事業の増収により前回予想を据え置いておりますが、営業利益、経常利益は、交通事業の営業収益下方修正等に伴う減益などにより、それぞれ下方修正しております。一方、当期純利益は、特別損益の増益などにより、前回予想を据え置いております。

平成25年3月期通期連結業績予想値の修正

(単位：百万円)

	前回発表予想	今回修正予想	増減額	増減率 (%)
営業収益	311,000	311,000	—	—
営業利益	18,500	18,000	△500	△2.7
経常利益	12,600	12,000	△600	△4.8
当期純利益	8,000	8,000	—	—

※業績予想については、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

減価償却方法の変更

当社および連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間から平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更による当第2四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	32,134	31,900
受取手形及び売掛金	12,581	11,977
商品及び製品	2,487	2,460
分譲土地建物	85,527	87,973
仕掛品	2,362	4,152
原材料及び貯蔵品	553	545
繰延税金資産	1,818	2,310
その他	6,010	7,551
貸倒引当金	△50	△32
流動資産合計	143,427	148,838
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	294,283	298,454
機械装置及び運搬具（純額）	39,664	40,350
土地	149,000	157,150
建設仮勘定	247,186	238,628
その他（純額）	7,287	6,818
有形固定資産合計	737,422	741,402
無形固定資産		
のれん	3,901	3,782
その他	6,875	6,422
無形固定資産合計	10,776	10,205
投資その他の資産		
投資有価証券	35,720	36,414
長期貸付金	2,318	2,216
繰延税金資産	10,902	10,653
その他	23,908	23,696
貸倒引当金	△173	△171
投資その他の資産合計	72,677	72,809
固定資産合計	820,876	824,417
資産合計	964,303	973,256

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	34,067	21,793
短期借入金	136,002	145,188
コマーシャル・ペーパー	—	10,000
1年内償還予定の社債	171	331
未払法人税等	3,432	2,758
繰延税金負債	92	0
前受金	5,307	6,181
賞与引当金	1,312	1,488
役員賞与引当金	128	—
その他	25,486	26,580
流動負債合計	206,000	214,323
固定負債		
社債	100,394	100,139
長期借入金	265,830	258,356
繰延税金負債	587	585
退職給付引当金	6,342	6,585
役員退職慰労引当金	726	729
長期前受工事負担金	169,595	175,760
その他	27,638	27,665
固定負債合計	571,115	569,821
負債合計	777,115	784,144
純資産の部		
株主資本		
資本金	43,738	43,738
資本剰余金	44,157	44,158
利益剰余金	98,644	101,109
自己株式	△132	△220
株主資本合計	186,408	188,786
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	344	△110
その他の包括利益累計額合計	344	△110
少数株主持分	435	436
純資産合計	187,187	189,112
負債純資産合計	964,303	973,256

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業収益	141,708	144,523
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	116,061	117,688
販売費及び一般管理費	16,979	16,577
営業費合計	133,040	134,266
営業利益	8,668	10,257
営業外収益		
受取利息	51	40
受取配当金	227	201
持分法による投資利益	206	390
その他	596	688
営業外収益合計	1,081	1,321
営業外費用		
支払利息	3,875	3,700
その他	257	257
営業外費用合計	4,133	3,958
経常利益	5,617	7,619
特別利益		
固定資産売却益	—	1,501
工事負担金等受入額	52	44
特別利益合計	52	1,546
特別損失		
減損損失	—	1,696
固定資産除却損	—	827
固定資産圧縮損	52	44
投資有価証券評価損	295	—
特別損失合計	348	2,567
税金等調整前四半期純利益	5,321	6,598
法人税、住民税及び事業税	2,916	2,555
法人税等調整額	138	△98
法人税等合計	3,054	2,456
少数株主損益調整前四半期純利益	2,266	4,142
少数株主利益	18	22
四半期純利益	2,248	4,119

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,266	4,142
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	205	△454
その他の包括利益合計	205	△454
四半期包括利益	2,472	3,687
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,454	3,664
少数株主に係る四半期包括利益	18	22

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

報告セグメントごとの営業収益および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	交通事業	不動産事業	レジャー ・サービス 事業	流通事業	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
営業収益								
外部顧客への営業収益	55,447	9,389	16,050	53,258	7,562	141,708	—	141,708
セグメント間の内部営業収益又は振替高	944	3,299	2,064	935	12,097	19,342	△19,342	—
計	56,392	12,688	18,115	54,194	19,660	161,051	△19,342	141,708
セグメント利益又は損失(△)	6,268	1,183	△223	448	804	8,480	187	8,668

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設・土木・電気設備の工事、輸送用機器の修理・改造、ビル管理業務等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）

1 報告セグメントごとの営業収益および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	交通事業	不動産事業	レジャー ・サービス 事業	流通事業	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
営業収益								
外部顧客への営業収益	56,299	8,059	18,160	54,210	7,793	144,523	—	144,523
セグメント間の内部営業収益又は振替高	1,076	3,389	1,948	674	12,423	19,512	△19,512	—
計	57,376	11,449	20,109	54,884	20,216	164,035	△19,512	144,523
セグメント利益又は損失(△)	7,532	△141	1,665	445	598	10,100	156	10,257

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設・土木・電気設備の工事、輸送用機器の修理・改造、ビル管理業務等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「レジャー・サービス事業」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、1,696百万円であります。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

4. 補足情報

【第2四半期連結損益計算書(前年同期比較)】

	前第2四半期 連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
I 営業収益	141,708	144,523	2,814	2.0
II 営業費	133,040	134,266	1,225	0.9
1. 運輸業等営業費及び売上原価	116,061	117,688	1,627	1.4
2. 販売費及び一般管理費	16,979	16,577	△401	△2.4
営業利益	8,668	10,257	1,588	18.3
III 営業外収益	1,081	1,321	239	22.1
1. 受取利息	51	40	△10	△21.2
2. 受取配当金	227	201	△25	△11.1
3. 持分法による投資利益	206	390	183	88.9
4. その他	596	688	91	15.4
IV 営業外費用	4,133	3,958	△174	△4.2
1. 支払利息	3,875	3,700	△174	△4.5
2. その他	257	257	0	0.1
経常利益	5,617	7,619	2,002	35.7
V 特別利益	52	1,546	1,493	—
1. 固定資産売却益	—	1,501	1,501	—
2. 工事負担金等受入額	52	44	△7	△14.8
VI 特別損失	348	2,567	2,219	637.7
1. 減損損失	—	1,696	1,696	—
2. 固定資産除却損	—	827	827	—
3. 固定資産圧縮損	52	44	△7	△14.8
4. 投資有価証券評価損	295	—	△295	△100.0
税金等調整前四半期純利益	5,321	6,598	1,276	24.0
法人税、住民税及び事業税	2,916	2,555	△361	△12.4
法人税等調整額	138	△98	△237	—
法人税等合計	3,054	2,456	△598	△19.6
少数株主損益調整前四半期純利益	2,266	4,142	1,875	82.7
少数株主利益	18	22	3	21.5
四半期純利益	2,248	4,119	1,871	83.2

【セグメント情報(前年同期比較)】

	前第2四半期 連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
交通事業				
営業収益	56,392	57,376	983	1.7
営業利益	6,268	7,532	1,264	20.2
不動産事業				
営業収益	12,688	11,449	△1,239	△9.8
営業利益又は営業損失(△)	1,183	△141	△1,324	—
レジャー・サービス事業				
営業収益	18,115	20,109	1,994	11.0
営業利益又は営業損失(△)	△223	1,665	1,889	—
流通事業				
営業収益	54,194	54,884	690	1.3
営業利益	448	445	△3	△0.7
その他				
営業収益	19,660	20,216	556	2.8
営業利益	804	598	△205	△25.6
合計				
営業収益	161,051	164,035	2,984	1.9
営業利益	8,480	10,100	1,620	19.1
調整額				
営業収益	△19,342	△19,512	△170	—
営業利益	187	156	△31	△16.7
四半期連結損益計算書計上額				
営業収益	141,708	144,523	2,814	2.0
営業利益	8,668	10,257	1,588	18.3

【鉄道運輸成績】

科 目	前第2四半期 連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
旅客運輸収入				
定期	14,921	14,896	△25	△0.2
定期外	21,511	22,037	526	2.4
計	36,432	36,933	501	1.4
輸送人員	千人	千人	千人	%
定期	123,227	123,631	404	0.3
定期外	93,393	95,467	2,074	2.2
計	216,620	219,098	2,478	1.1